

「未来に羽ばたく元気な和歌山」の実現に向けて

—平成22年度予算編成の方針—

平成22年度予算は、「元気な和歌山の創造」に向け、**県民の生活に「希望」と「安心」をもたらす取組に重点投資**する。

このため、行財政改革を着実に進め、**持続可能な財政構造の確立**をめざす。

1 平成22年度の重点目標

県民生活と本県経済を守るため、昨年来、切れ目のない対策を実施してきた。

昨今の本県経済は、生産や輸出に対する底入れ感が芽生えつつあるものの、雇用の大幅な調整や消費の冷え込み等まだまだ懸念される要因は払拭しきれず、県民生活についても、所得環境の悪化等により、将来に対する不安から来る閉塞感の広がりが見られる。

そこで、現下の厳しい社会経済情勢を乗り切り、その後の発展の好機を確実に捉え「元気な和歌山」を実現するため、平成22年度予算においては、以下のとおり、『県民の「希望」を拓く施策』と『生活の「安心」を守る施策』に重点を置く。

『県民の「希望」を拓く施策』の展開

① 学校の教育力を向上し、青少年の健全な成長を応援する。

このため、例えば

- ・ 児童・生徒の学力向上に向けた取組強化
- ・ 友情や人間関係を築く宿泊体験学習の導入
- ・ 困難を抱える若者への支援体制の強化 などに注力する。

② 県内産業の競争力と成長力を強化する。

このため、例えば

- ・ 海外展開へのチャレンジを支援
- ・ 技術革新に関する産学官研究の強化
- ・ 足腰の強い農林水産業の育成 などに取り組む。

③ 本県の強みを活用し、先導的な取組にチャレンジする。

このため、例えば

- ・ 太陽光など新エネルギー導入の取組拡大
- ・ 地域資源を活かした産業の創出や地域おこし を県をあげて推進する。

『生活の「安心」を守る施策』の展開

① 福祉・医療体制の一層の充実を図る。

このため、例えば

- ・ 授乳スペース設置など子育てしやすい環境づくり
- ・ 地域の拠点病院の充実や医療機関相互の連携強化 などに取り組む。

② 災害から県民の命を守る取組を加速させる。

このため、例えば

- ・ 地震防災対策アクション・プログラムの着実な推進
- ・ 木造住宅の耐震化促進や市町村の防災対策への支援 などに取り組む。

③ 県民の日々の暮らしを守る。

このため、例えば

- ・ 消費者行政に取り組む市町村への支援
- ・ 全国をリードする新たな和歌山版過疎対策の展開
- ・ 携帯電話不感地域の解消・地デジ難視対策の推進 などに取り組む。

2 「持続可能な財政」の堅持

「新行財政改革推進プラン」（以下、新行革プラン）を着実に実施し、平成22年度の収支不足額を新行革プランで定めた範囲内に抑制するよう努める。

新行革プランの考え方を基本として、既存事業については、▲10%のマイナスシーリングを実施するとともに、投資的経費については、新行革プランで想定した平成22年度における投資的経費の総量を目途とする。ただし、上記重点目標に沿った事業は、原則としてシーリングを設定しない。

なお、国の公共事業予算の動向等を踏まえ、予算編成過程において調整等を行うことがあり得る。

お問い合わせ先

新政策関係:企画部企画政策局企画総務課

稲葉、赤坂(内線2337)

財政関係:総務部総務管理局財政課

谷口、藤戸(内線2163)